



郡山八幡神社 (大和郡山市)

(住所) 大和郡山市柳4の25
(祭神) 品陀別命、比売命、大帯日姫命
(交通) 近鉄郡山駅から南東へ徒歩

約10分
(拝観) 境内自由
(駐車場) 5台分(無料)
(電話) 0743・52・2746

郡山八幡神社は、市内の静かな住宅地の中に厳かな雰囲気です。鳥居をくぐると、明るい境内が開け、本殿と境内社の後方から郡山城の外堀土塁跡まで鎮守の森が繁っています。

神社の起源は、東大寺の守護神として勧請された宇佐八幡神が、薬師



寺門前の休ヶ丘で1泊した際に、豪族・中尾氏が

「柳八幡大菩薩」として、この地に分祀し、地名を「柳」としたことに始まります。県内の宇佐八幡系の宮では古く、大和郡山の氏神様でもあります。

1585(天正13)年、豊臣秀長の郡山城築城に伴い、現在の地に移り、

武家の信仰を集め、郡山城の南方の守護神になりました。神社の前の通りは、当初鎮座した柳の地にちなんで柳町通りと呼ばれています。また、当神社は、奈良県が野球クラブの有数の生産地であることから、国内でも珍しい「クラブ神社」として、野球上達

の祈願所になっています。「クラブ祭り」では、集められたクラブを洗浄して、野球の盛んなカリア海沿岸の国々の子供たちに贈られています。元来、武家の信仰を集めていた郡山八幡神社ですが、現代では、子供から大人までの「野球のサムライたち」が技術の向上を願い、参拝する姿が多く見られます。

野球上達祈る「クラブ神社」

(奈良まほろばソムリエの会員 島田宗人)